

# NIMDフォーラム2021

## 国際水俣病総合研究センター

2021年11月6日(土)

### 水俣の地域再生と 市民・企業・行政のパートナーシップ

イタイイタイ病は・・・伝染も遺伝もしません  
原因はカドミウムによる慢性中毒です。

イタイイタイ病対策協議会 会長  
(一財)神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会 代表理事  
高木 勲 寛

1

イタイイタイ病は、富山県を流下する神通川の上流 岐阜県吉城郡(現・飛騨市)神岡町の三井金属鉱業 神岡鉱業所(現・神岡鉱業)からのカドミウムを含む重金属の排出による。

- 明治44年(1911年)・・・最初のイ病患者発生 (厚生省の推定)
- イ病は骨の病気・・・腎性骨軟化症  
・・・腎臓尿細管障害・・・再吸収低下
- 大正14年(1926年)・・・イ病生存者20名(厚生省推定累積数)
- 令和3年(2021年)10月末認定患者200名 (公式の患者数)

**男性 5名・女性 195名・生存者 1名 (女性)**

#### イタイイタイ病認定条件

- ① カドミウム濃厚汚染地居住 (カドミウム暴露歴)
- ② 非先天性、成年期以降 (主として更年期以降の女性) の発現
- ③ 尿細管障害
- ④ 骨粗しょう症を伴う骨軟化症

要観察判定 343名  
生存者1名(女性)  
**10/30 新規 1名**  
生存者2名 **344名**

2

# イタイイタイ病は「公害病」と日本初の認定

## 昭和43年（1968）5月8日厚生省見解発表

— 富山県におけるイタイイタイ病に関する厚生省の見解 — （抜粋）

### 1 現在までの経緯について

神通川流域の富山県婦負郡婦中町及びその周辺地域において発生していたいわゆるイタイイタイ病は、長年にわたり原因不明の特異な地方病としてみられていたが、昭和30年に学会において本病に関する報告がなされて以来、社会の関心を集めてきた。

イタイイタイ病の原因物質としてカドミウムが注目されたのは昭和35年以後である。本病の発生にあたっては、厚生省としては43年4月末までに公表された全ての科学的な調査研究結果及び公的機関の資料等を詳細に検討した結果公害行政の立場より、イタイイタイ病に関して次の見解に達した。



3

### 2 本態と発生原因について

- イタイイタイ病の本態は、カドミウムの慢性中毒によりまず腎臓障害を生じ、次いで骨軟化症をきたし、これに妊娠、授乳、内分泌の変調、老化及び栄養としてのカルシウム等の不足などが誘因となってイタイイタイ病という疾患を形成したものである。
- 対象地域として調査した他に水系及びその流域ではカドミウムによる環境汚染や本病の発生は認められず、**本病の発生は神通川流域の上記の地域にのみ限られている。**
- 慢性中毒の原因物質として、患者発生地域を汚染しているカドミウムに就いては、**自然界に由来するもののほかは、神通川上流の三井金属鉱業株式会社神岡鉱業所の事業活動に伴って排出されたもの以外には見当たらない。**

4

# 救済に向けて

原因がわからない 業病 地方特有の病気

イタイイタイ病対策協議会結成 昭和41年(1966年)11月14日  
戸籍をかけた闘い始まる。住民立ち上がる…小松義久会長

- 患者を救済したい。
  - 神通川の水を清流に戻したい。
  - 企業に謝罪を求める。
- 公民館活動として取り組む。公民館長

5

## 救済…裁判 その1

### ●大企業相手の無謀な提訴

昭和43年(1968年)3月9日富山地方裁判所へ  
企業に謝罪させ、救済を求めるために

- 裁判に勝てるのか
- お金はどれだけかかるのか
- どれだけ時間がかかるのか



第二次訴訟。二百ページに及ぶ膨大な訴状を提出する正力弁護士  
長(中央) - 富山地裁訴訟事務室で

月例会を開き、弁護士との交流・意志確認

6

## 救済・・・裁判 その2

### 公害裁判 初の勝訴判決

●昭和46年（1971年）6月30日・・・富山地方裁判所

- 主因はカドミウム
- 三井金属に責任

●三井金属鉱業(株) 即日控訴  
賠償額を倍額にする。



7

### 完全勝訴・・・確定

●昭和47年(1972年)8月9日・・・名古屋高等裁判所  
請求のほぼ全て 勝訴判決 金沢支部

- 公害に対する世論の高まり
- マスメディアの力
- 訴訟救助

8月10日三井金属本社にて  
直接交渉



8

## 原因企業・・・直接交渉 11時間に及ぶ

- 昭和47年（1972年）8月10日  
三井金属鉱業 本社(東京)へ

直接交渉 3つの約束 締結 **弁護団の先見**

- 患者救済(賠償)の誓約書
- 土壌汚染問題に関する誓約書
- 公害防止協定書 **立入調査権 神通川の清流**

9

## 誓約書・協定書の履行

社長の謝罪を受け入れず

### ●誓約書と協定書の履行を見とどける。

約束したことを実行させる。

- 患者救済 治療費の全て
- 汚染田の復元 受益負担<sup>ゼロ</sup>0
- 立入調査の実施 神通川の清流を取り戻す。

10

## 認定行政の後退 巻き返し

1974年 県 患者認定審査委員を更迭

1975年 文芸春秋2月号 イタイイタイ病は幻の公害病

与党国会議員による厚生省見解の見直し発言

三井金属の誓約書違反 抗議活動

国への抗議活動

激しい巻き返しに反論・陳情 重ねる。

※1 **三井金属 誓約書違反を謝罪する。**

1981年 イタイイタイ病セミナーを開催・・・**世論喚起**

11

## ●患者救済（誓約書）

➤神通川流域住民健康調査

➤富山県公害健康被害認定審査会

} 毎年1回開催

➤**県審査会の壁・・・不服審査申立 2回**

➤死後解剖による認定

●**カドミウム腎症の救済 40年間 国へ要請**

イタイイタイ病の前段の症状・・・公害病認定されず

**救済制度創設 直接交渉 三井金属鉱業 責任を認める。**

12

## ●汚染農地の復元…(復興)(誓約書)

### 国・県へ要請

- 公害防除特別土地改良事業による
- 国・県の土地改良事業…用水・排水の分離
- 埋蔵文化財調査
- 土質…扇状地土質から粘土土質の客土
- 農家…「土づくり」から

13

## ●発生源対策（公害防止協定書）

(1972年)

第1回 昭和47年11月16, 17日…18日

東京大学及び京都大学の教授等科学者グループの  
知見と多大な尽力

- 立入調査権…資料請求…**年次報告書**
- 科学者・弁護士の立入調査…類例無し
- 科学者・弁護団の提言 反発から受け入れ

神岡鋳業の作業環境改善

※2 経営の転換…鋳害防止に投資増額  
生産優先から…社員教育

14

# 全面解決・・・謝罪を受け入れる

●ワンストップ窓口

2013年12月17日

●企業と被害住民の当事者間の課題解決

●所謂カドミウム腎症の救済制度創設

「公害病」ではないが企業の責任

イタイイタイ病の権威 千葉大学能川浩二名誉教授の意見戴く  
医学者、弁護団によるイ病研究会を重ねる

●神通川の清流 甦る

●復元事業の完了

15

## 緊張感ある信頼関係を確認

「過去に皆様にご迷惑をかけたことは消すことはできません。  
今後もこのことを踏まえ皆様と向き合っていきます」**公言**

●謝罪を受け入れる。42年目



●誓約書及び協定書を廃棄せず  
履行・継続を確認

16



## 甦る清流と豊かな大地 そして…

神通川の河川水…自然界値・清流甦る

国内最大の復元事業…優良農地甦る

かけがえのない **命**  
裁判に完全勝訴しましたが  
命は蘇ることはありません

イタイイタイ病は終わっていません

17

## 神通川清流環境基金創設

全面解決を機に…公害…環境

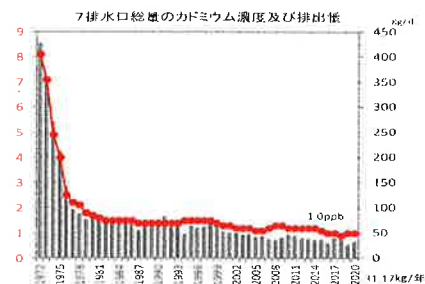
- ▶ イタイイタイ病の風化防止
- ▶ 地域社会貢献
- ▶ 次代へ、若い人たちへ
  
- ▶ イタイイタイ病研究支援部門：全国対象  
第3回最優秀賞 東京大学 窪田亜矢特任教授
- ▶ 環境保全支援部門：富山県内対象
- ▶ 清流環境作文コンクール部門：富山県内小学生対象
- ▶ 講演会

18

# 富山平野の安心安全を守る 社会的責任をもって!

## 今も毎日 神通川の水質チェック

神通川の水質は自然界レベルに甦る。  
再汚染させないために。企業と共に!



- 第50回 全体立入調査は通過点 令和3年7月
- 下流に命あり...企業倫理喚起

## 環境安全最優先へ

協力科学者グループ・イ病弁護団・発生源対策専門委員会

- 富山平野の安全・安心に資する立入調査

19

# 環境安全最優先...企業の覚悟



節目の第50回立入調査 被害住民と企業 記念撮影

緊張感ある信頼関係  
確認

第50回全体立入調査  
2021年7月17日

PCR検査陰性 22名 少数精鋭  
科学者・弁護士・被害住民  
バス2台にて

神通川の清流甦る  
立入調査50回は通過点です。

20